

命と家族、絆の物語。








2013年
10月19日(土)
岡山大学
鹿田キャンパス

魂が号泣する感動の104分

生まれる

ナレーション つるの剛士

企画・監督・撮影：森田トモ プロデューサー：牛山朋子 コーディネーター：大葉ナナコ 音楽：古田秘馬 プロダクションデザイン：溝田明
コメンテーター：池川明 鮫島浩二 岡井崇 大葉ナナコ 見尾保幸 吉村正 エンディングテーマ：「オメデトウ feat.KOHEI JAPAN」 つるの剛士 (PONY CANYON INC.)
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー ©2010「生まれる」パートナーズLLP

企業サポーター：       
www.umareru.jp

生まれる
～不妊と流産と乗り越えて～
2010年 モントリオール
世界映画祭入選
第16回 サンアントニオ
映画祭入選

NHKや
朝日新聞等でも
話題!!
Yahoo!ムービーで
No.1獲得!!



自分たちが生まれてきた意味や家族の絆、命の大切さ、人との繋がり、
そして“生きる”ことを考える、ドキュメンタリー映画です

岡山大学大学院保健学研究科 「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 13

日時：2013年10月19日(土)

会場：岡山大学医学部鹿田キャンパス

入場券：前売り券 500円

9時30分開場，10時上映開始

医学部臨床第1講義室

定員：250名

お申込み・お問合せ：岡山大学大学院保健学研究科 育成プログラム事務局

2013年10月19日(土)
医学部保健学科棟3階301大講義室
公開セミナー
「思春期からの子育て支援」

e-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp URL: http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/ Phone & FAX: 086-235-6538

子宮出身の
すべての人たちへ贈る
感動のドキュメント



両親の不仲、虐待の経験から
親になることに戸惑う夫婦。
出産予定日に我が子を失った夫婦。
子どもを望んだものの
授けられない人生を受け入れた夫婦。
完治しない障害を持つ子を育てる夫婦。
全てが「生まれる」
ストーリーです。



この映画は、たんなる出産ドキュメンタリーなどではなく、
出産を切り口にした『親子の物語』なのだと思う。
親に、深く、深く、感謝した。

乙武洋匡 (作家)

私に関わってくれるすべての人に
「本当に本当にありがとう」と言いたくなりました。
また政治家という立場からも
何ができるか考えさせられる映画でした。

小淵優子 (衆議院議員 元少子化対策・男女共同参画担当大臣)

生きていろいろ腹立つことあるけど、結局、うまれたから
愛する人と出会えたんだ。悲しくない涙がたくさん出ました。

鈴木おさむ (TBSドラマ『生まれる。』脚本家)

私は子供を産まずに45歳になりました。
でも、それは欠陥ではないよ、と言ってもらえた気がしました。
そう思ったら涙が止まりませんでした。

さかもと未明 (漫画家・タレント)

“僕はただ、両親と仲直りがしたくて、
この映画を作ったのかもしれない”

自分は愛されているんだろうか… 自分は本当にこの両親の子ども
なんだろうか… 物心ついた時から、僕はそう思っていました。
4歳年下の弟が右目が半分開かない状態で産まれてきたことから、
両親は弟の事で精一杯。僕は「親の愛情」というものを、知らず
に育った気がしていました。

自分はなぜうまれてきたのか、何のために生きているのか… 自分
の存在価値がよくわからなくなり、結婚や子どもを持つことに、全く
夢を描けませんでした。

そんなある日。講演会で「赤ちゃんは雲の上で親を選んで生まれて
くる」という胎内記憶の話の話を聞きました。

自分は好きでうまれてきたんじゃないし、子どもは親を選べないと
ずっと思っていた僕は、非科学的でファンタジーな話とは思いつつ、
心から感動したのです。

自分が選んだのかも、と考えると、いまの親子関係は自分にも責任
があるのでは、自分も本当は愛されていたのでは… 長らく抱いて
いた否定的な感情が少しずつ消えていくのを感じました。

「生まれる」ことを映画にしたい！命の原点に向き合うことで、僕自
身、両親との関係を築き直せるかもしれない……。

それから3年あまり。何十組ものご家族、ご夫婦取材・撮影さ
せていただきましたが、「生まれる」ことを知れば知るほど、そ
の奥深さと神秘に僕は圧倒されました。

産まれてくること、そして生きることは、まさに奇跡の連続。頭では
分かっている命の尊さ、感じる機会ってどのくらいあるのでしょうか？
全身の細胞全部で、映画のメッセージを受け止めていただけたらう
れしいです。

企画・監督・撮影 豪田トモ



あなたの町で映画『生まれる』を上映しませんか？

自主上映会サービスの詳細 & お申込は公式HPより



うまれる

ナレーション：つるの剛士 企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ / 配給・宣伝：マジックアワー
©2010「うまれる」パートナーズLLP
2010/日本/カラー/HD-35mm/104分/ピクチャーサイズ/DTS STEREO
www.umareru.jp



命のドラマが書籍になりました。

「うまれる かけがえのない、あなたへ」

豪田トモ著 PHP 研究所 1,470円(税込)

岡山大学大学院保健学研究科

「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム 13

日時：2013年10月19日(土)

入場券：前売り券 500円

9時30分開場，10時上映開始

定員：250名

会場：岡山大学医学部鹿田キャンパス

公開セミナー「思春期からの子育て支援」

医学部臨床第1講義室

医学部保健学科棟3階 13:30～

お申込み・お問合せ (メールをお勧めします)

岡山大学大学院保健学研究科

育成プログラム事務局(中塚研究室)

Phone & FAX: 086-235-6538

e-mail: josan@cc.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/josan/>